



▶6月23日に行われたワクチン接種の様子

コロナ禍収束へ期待

新型コロナウイルスワクチン集団接種

保健センターでは、6月12日から新型コロナウイルスワクチンの集団接種が開始され、毎週水曜日と土曜日に接種が行われています。4回目のこの日は町内病院の医師2人と看護師4人が対応にあたり、96人の接種を行いました。

同センターの良田所長は「安全に事故なく接種を進めることが重要。接種に協力して下さるみなさまには大変感謝しています」と話しました。

この日1回目の接種を終えた65歳の女性(長山)は「痛みはあまり感じなかった。家族全員がワクチンを打ち、皆でお正月などに落ち着いて暮らせる日が来ると嬉しい」と話しました。

町へ金メダルを

浦田理恵さん東京2020パラリンピック出場

東京2020パラリンピックのゴールボール競技に出場する浦田理恵さん(東豊永出身)の、中継による南関町表敬訪問激励会が、7月14日に町役場で行われました。

浦田さんがパラリンピックに出場するのは今大会が4度目。選手団副主将という重責を背負って金メダルの獲得を目指します。

激励会には、町長をはじめ町関係者と第三小学校の5.6年生34人が参加し、浦田さんに激励の言葉を贈りました。

浦田さんは「皆さんからいただいたエールを胸に、東京パラリンピックでは精一杯ベストを尽くし、金メダルの獲得を目指します」と決意を述べ、子どもたちには「失敗を恐れず、いろんなことにチャレンジしてほしい」熱く語りました。



▶中継による激励会の様子



▶佐藤町長に図書を手渡す眞野代表(左)

小中学校に図書寄贈

F-WAVE株式会社

東部工業団地のF-WAVE株式会社(眞野重治代表取締役)は6月18日、各小学校に6冊、南関中学校に12冊、合計36冊の図書を贈りました。眞野代表は「子どもたちに本から何かを感じ取ってもらえれば」と話しました。

寄贈された図書は、『チャリティブック455』というもので、東日本大震災で被災した子どもたち455人が海外にホームステイして学んだことなどをまとめたもの。眞野代表は、このホームステイへの支援を続けています。

佐藤町長は「子どもたちの学びに生かせる貴重な本をいただいた。本当にありがたい」とお礼を述べました。

大きくなあれ おイモさん

こどもの丘保育園の園児がイモ苗植え体験

こどもの丘保育園(菅原裕園長)の園児は6月8日、同園の畑でイモの苗植えを行いました。

この取り組みは、若手農業者グループ「がまだす隊」の隊員が食育を広めるために毎年行っており、隊長の田中誠一さん(上長田)は「楽しくワイワイこの活動ができるといい。自分で苗を植えることで、野菜の好き嫌いもなくなれば」と期待を込めました。

苗植え体験をした38人の年少・年中の園児は、「おいしいおイモができますように」と手を合わせ、一生懸命に苗を植えました。



▶真剣な眼差しで苗を見つめる園児



▶御茶屋跡の写真に夢中の児童

町の歴史を肌で感じる

通学学習

町は、6月28日～7月6日の期間に町内4小学校の6年生を対象として「通学学習」を行いました。

これは、町教育委員会が毎年開催しているもので、今回で18回目。昨年度はコロナウイルス感染症を考慮して中止となりましたが、今年は合宿ではなく規模を縮小し、通学学習として開催されました。

児童は、初めに町公民館で人権について学び、その後は御茶屋跡・南関城跡・旧石井家住宅を回り現地学習を行いました。

7月6日に通学学習に参加した三小の児童は「良い写真がたくさん撮れた。御茶屋跡のお人形さんの写真は怖いけどお気に入りです」と元気に話しました。

環境を守るためにできることを

中学生の環境学習

南関中学校(永杉尚久校長)では7月1日、身の回りの環境について考えることを目的に環境学習が開催され、3年生51人がエコア熊本の施設や循環型社会について学びました。

この日講師を務めたのは、エコア熊本の職員4人。例年はエコア熊本に出向いて学習を行っていましたが、昨年度から感染症対策を考慮して中学校で行っています。

授業を聞いた生徒は、「ゴミが思っていた以上に大量に出ていることを知った。また、海の生き物が自分たちが出したごみの影響で苦しい思いをしていることが分かり、今後環境にやさしい生活を心がけていきたい」と話しました。



▶中学校で行った環境学習の様子



▶説明を受ける団員

新しい装備に気を引き締める

町消防団に消防車両を4台更新

町は6月27日、新たに購入した小型動力ポンプ積載車4台の引き渡し式を行い団員など約30人が参加しました。

町では、消防団がよりよい性能の設備で消防活動に対応できるよう各分団が所有している車両などを定期的に更新しています。これまでのポンプ積載車はマニュアル車でしたが、誰でも運転できるよう今回は初めてオートマチック車を導入しました。

佐藤町長は「次の世代まで引き継ぐことができるよう、訓練や点検をしっかり行ってほしい」とあいさつし、大里団長は「地域住民の生命・財産を守るため日々訓練に励みます」と謝辞を述べました。

その後、納入業者から使用方法の説明が実施され、団員はみな熱心に耳を傾けていました。

安全・安心な暮らしのために

南関町地域防災会議

町は6月15日、南関町防災会議を南の関うから館で開き、「令和3年度南関町地域防災計画」の内容などについて協議しました。

この計画は、災害対策基本法の規定に基づき、防災対策の現状把握と災害時における応急措置体制に関する必要事項を定めています。

この日は、前回からの変更点を確認し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成他訓練実施の義務化、警戒レベル4にあたる「避難勧告」の廃止及び「避難指示」への一本化などについて協議しました。



▶関係機関の代表者が協議